

美濃市古城山環境保全モデル林で 「実のなる木の植栽体験」が開催されました

令和2年11月15日(日)に、美濃市吉川町にある古城山環境保全モデル林(ふれあいの森)で、古城山環境保全モデル林連絡協議会主催による「実のなる木の植栽体験」が開催され、16名(うち子供7名)が参加されました。

植栽する実のなる木は、大きくなった頃に伐採して木工細工にも利用できるクリを選びました。

開会式の後、植栽場所となる前回イベントの伐採体験を行った場所に向かいました。まず、少し日陰になったところをさらに明るくするため、スタッフによる伐採の実演を見学しました。

クリの植栽は巣植えという方法にしました。早く上に伸びようとする性質を生かして真直ぐな木にするため、1箇所に苗を3本1組で植栽し、それを3m程度の間隔で植栽します。

子どもたちも大人に手伝ってもらいながら唐鋤を振るって土を掘り、その穴へ苗を植えていきました。

昼食はシェフが作った、薪で炊いたごはんとキノコがたっぷりのあたたかい豚汁をおいしくいただきました。



管理棟前で開会式



植栽場所を明るくするため伐採を実演



子どもたちも唐鋤を振るって穴掘り



掘った穴に苗を入れ土をかぶせて完成



巣植え(1箇所に苗を3本植栽)



昼食(薪で炊いたご飯とキノコが入った豚汁)

「木を植えることがこんなに大変だとは思わなかった」、「これから森が育っていくこの瞬間にここに居られてよかった」、「実のなるころにまた来たい」等の感想をいただきました。